

タウンサポーター

地域教育コーディネーター養成研修



今年度の下都賀地区地域教育コーディネーター養成研修は、学校と地域が双方向に連携・協働しながら各種活動を展開するとともに、地域住民同士の交流やつながりづくりの機会を意図的に創出できるコーディネーターを養成することをねらいとして実施しました。

御参加いただいた15名の皆様は、県生涯学習課 井上 昌幸 課長補佐と、とちぎ市民活動推進センター（くらら）副センター長の 大波 龍郷 氏による講話をとおして、「協働」の意義と具体的な取組について理解を深めました。また、現地研修において立ててきた計画をもとに、実践につなげるための意見交換を参加者同士で行いました。

地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える環境づくりのために、学校と地域をつなぐコーディネーターの存在はとて重要で、参加者の皆様の今後の活躍を期待しています。



下都賀地区ふれあい学習ネットワーク 第2回研修会

2月5日（火）、下野市国分寺公民館を会場に「下都賀地区ふれあい学習ネットワーク」を実施しました。

前半は、尚 綱学院大学の 松田 道雄 先生を講師に招き、「地域学校協働活動を『地域づくり』『まちづくり』につなげていくために」という演題で御講話いただきました。後半は、下野市家庭教育支援チーム「ひばり」の 水田 あけみ 氏、大古 理恵子 氏、西本 由利子 氏にファシリテーターとして御協力いただき、「地域元気プログラム」を活用した演習を行いました。

参加者からは「地域とのつながりが、これからの子どもたちにはますます大切になってくることを実感しました。」「人は、人との関わりの中で育つということを感じました。」等の感想が寄せられました。地域全体であたたかなネットワークを構築する大切さを、改めて考えることができた機会となりました。



地域をつなぐ

おやま市民大学講座「まり・びわ古墳さんぽ」

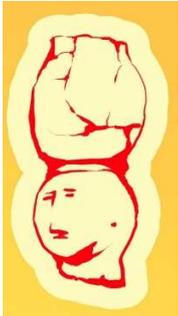
平成30年10月27日（土）秋の爽やかな風の中、国史跡 摩利支天塚・琵琶塚古墳資料館において「まり・びわ古墳さんぽ」講座を開催いたしました。参加者の方は、おやま市民大学を卒業したメンバーで構成されるボランティア団体「まり・びわ古墳の会」



による展示案内を受けた後にスタンプシートとクイズの掲載されたシートを持って、両古墳のチェックポイントをまわり、埴輪や古墳のハンコを集めました。

先着30名を超える参加と盛況で、小山市在住の方のほか、栃木市・壬生町・宇都宮市・結城市からお越しになった方もいらっしゃいました。

今後は4月に古墳まつりも開催予定ですので、ボランティアによるガイドをぜひご体験ください。



ふれあい学習

とちぎ味楽ボランティアネットワーク 第4回交流ネット交流会

栃木市の2月のイベントは、「ボランティア交流会」です。学校と地域の窓口であるコーディネーターや学校支援ボランティアだけでなく校長先生や教頭先生、公民館担当者などアシストネット事業に関わる方、200名が参加しました。

実践事例発表を中心とした第1部は、大宮北小学校の地域コーディネーター 茂呂 真理 氏と学校コーディネーターの 辻 雅之 先生、岩舟中学校の学校コーディネーター 間中 美智子 先生による活動紹介。情報交換と懇親を中心とした第2部は、軽食をとりながら各地域内での交流と他地域間での情報交換を行いました。

年々、参加者が増え、今回は他県からの参加申込みもありました。今後も、学校を核にして「地域の絆」「人づくり」「まちづくり」を合い言葉に交流を深めていきます。次年度は、2020年2月1日に開催予定です。



栃木 特別支援学校

PTA対象研修会開催

12月3日（月）にPTA研修会を実施しました。前半は臨床心理士の 渡邊 文子 氏より『思春期の子どもとの関わり方』の演題で、「思春期の子どもたちへの対応の基本」や「思春期の子どもを育てるために大切な10のこと」について講話をいただきました。

後半は「親学習チーム日光」代表の 生井 泉 氏をファシリテーターとして、親学習プログラム『思春期の子どもとの関わり方～レッツ・親トーーーク～』を実施し、保護者同士で情報を交換し合いながら前半の講話の振り返りを行いました。参加者からは「親としての自分を振り返る貴重な経験ができました」「元気をいただくことができました」等の感想をいただきました。



実りある有意義な研修会となりました。



県立高校等の取組を紹介します！ 壬生高等学校

点字講習会

本校と壬生町立藤井小中学校は、その距離が近いこともあり交流が大変盛んです。10月には本校福祉コースの生徒が講師となって、藤井小3・4年生の児童を対象に点字講習会を行いました。

それに先立ち、壬生町の点訳グループ「ゆうがお」の皆様を本校にお招きし、点字の基礎について事前学習を行いました。小学生でも理解できるように工夫を加え、準備を進めました。当日は皆で点字クイズを楽しんだ後に本校生が点字の仕組みについて説明しました。



1時間ほどの短い交流会でしたが、小学生は簡易点字器を使って自分の名前を打てるようになりました。地域の皆さんに教えていただいたことを基に高校生の視点を加えることで、福祉の輪を広げることのできた交流会となりました。

